

ワシントンで働く女性の会（J-WIP）第3回会議報告

企画担当理事
安井真紀

去る5月26日、ワシントンDCで働く女性の会（Japanese Women in the Professions in Washington D.C.（J-WIP））の第3回会議をワシントン市内で開催しました。

基調講演は、海上自衛隊から米国海軍士官大学校に3年間、教官として出向されている村越勝人氏より、「日米の心の絆～過去から未来へ～」をテーマに、米国の将来を担う若きエリートに教鞭を執る立場からみた日米関係についてお話をいただきました。米国海軍士官大学校に入学するための厳しい選抜と充実した教育環境、海軍士官大学校敷地内に残る日本海軍ゆかりの品々、日本初の女性の国費留学生等のお話を通して、1853年のペリー来航以来長きに亘って海上自衛隊及び米国海軍に脈々と流れる心の絆と、将来の日米関係について、熱く語っていただきました。

後半は、日米安全保障をご専門とするスティムソン・センター主任研究員の辰巳由紀氏を交えて、パネルディスカッションを行いました。参加者からは、海上自衛隊及び米国海軍における女性の登用状況や、安保法制等について、様々な質問、意見が出され、関心の高さが伺えました。

最後に特別ゲストとして、一般社団法人万延元年遣米使節子孫の会の村垣孝理事長が登壇され、1860年に江戸幕府が米国に初めて公式派遣した使節団に関する、当時の貴重な資料を見せていただきました。

当日は、商工会会員を含む、男性・女性31名の方々にご参加いただきました。

【参加申込先・お問い合わせ先】

J-WIPでは引き続きメンバーを募集しております。ご関心のある方、以下連絡先までメールでご連絡ください。お待ちしております。

企画担当理事：安井（m-yasui@jbic.go.jp / mkysi.makimaki@gmail.com）

商工会会員：酒向（yuki.sako@klgates.com）

